

「夏休み工作教室 くめんだけ作り」令和1年8月2日

北上山地民俗資料館では、夏休みにあわせて「くめんだけ工作教室」を開催しました。川井地区の小学生や保護者10名が参加しました。

「くめんだけ」とは竹と紐で作る昔の知恵の輪を作って遊ぶ道具です。遊び方は、ひもに通された竹管を隣の輪に移動させるというものです。

教室では子どもたちが、事前に穴をあけておいた竹筒に紐と小さな竹管を通して完成させました。竹管を隣の輪にどのようにしたら移せるのが、一生懸命考えていました。子供たちは少し難しそうでしたが、最後まで挑戦し、竹管を移動させることができました。

〔くめんだけ〕の名前の由来は、いろいろ考えて工夫するから「工面竹（くめんだけ）」というそうです。

民俗資料館では子どもたちに地域の伝統的な生活技術や遊びの一端の体験してもらい、昔の暮らしについて興味を持ち、理解を深める機会を提供したいと思います。

「くめんだけ」に挑戦!



組み立ては簡単!

移動させるのは難しい・・・